

在独PIネットワーク・サイエンスシンポジウム 「身近にあるサイエンス ～人体から物質、宇宙まで～」

主催：在独PIネットワーク、在ドイツ日本国大使館

場所：在ドイツ日本国大使館多目的ホール (Hiroshimastr. 10, 10785 Berlin)

日時：2018年4月20日 (金)

16:00 開場

16:30 開会、挨拶 (八木毅・駐ドイツ日本国特命全権大使)

16:40 講義1 「カラダをまもる」 常世田好司 (ドイツリウマチ研究所グループリーダー)

風邪はなぜひくの？ 痛いワクチンはなぜするの？ アレルギーやリウマチはなぜ起こるの？ カラダにある「5つの壁」が、私のカラダをまもっていることを実感してみよう。

17:10 講義2 「水のチカラ」 永田勇樹 (マックスプランク高分子研究所プロジェクトリーダー)

水ではシャボン玉は作れないのに、石鹼水ではシャボン玉が作れる。これは、水の表面に働くチカラに由来する。このチカラを簡単な実験を通して感じてみよう。

17:40 講義3 「僕は天文学者」 小松英一郎 (マックスプランク宇宙物理学研究所所長)

宇宙の始まりはどうなっていたのか？ 私たちはどこから来たのか？ 宇宙に果てはあるのか？ 膨張する宇宙の未来は？ 宇宙に終わりはあるのか？ などなど、最先端の研究からわかって来た宇宙の姿を紹介しつつ、天文学者とは何をやっている人なのかも紹介します。

18:10 質疑応答

18:30 閉会

閉会后、懇親会を開催 (~20:00)

言語：日本語

参加費：無料

